

ニューファミリーシリーズ “自動みずとめ”

製品の機能が十分発揮されるように、

安全のために必ずお守りください

取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けください。

- この説明書では、機器を安全に正しくお使いいただくために、必ずお守りいただくことを、△注意の表示によってお知らせしています。

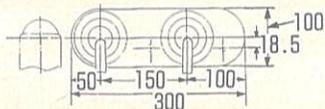
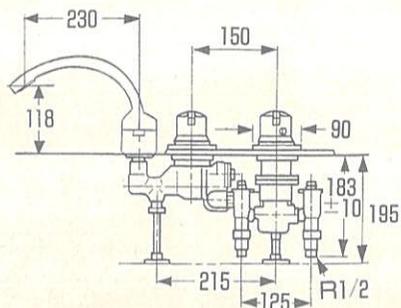
△注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

△注意

湯水を逆に配管しないでください。水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。

完 成 図

TBF41RX (Rタイプ) 図はRタイプです。
TBF41LX (Lタイプ)
※本製品 (TBF41型) は施工誤差が±10mmまで調整できるタイプです。
※ハンドルはRタイプ、Lタイプ共通です。



使用条件

1. 使用水圧

(1)瞬間型給湯機と組合せる場合

給水圧力 { 最低必要水圧… (下記一覧表参照)
最高水圧…0.6MPa
器具入口部における最低必要水圧(MPa)

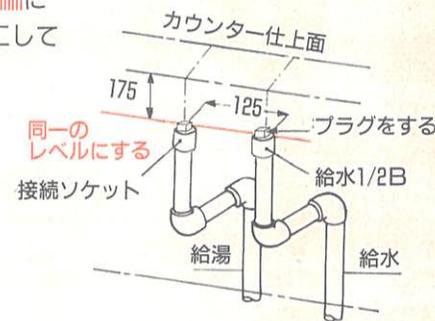
給湯機タイプと号数		最低必要水圧		
		TBF41R/LX	TBF41AR/ALX	
能力手動切替タイプ	12号	A+0.35		
比例制御タイプ	TOTO カスタム 制御方式	10号	—	
		16号	0.12	
		20号	0.11	
	TOTO トリコン 制御方式 (トリコン ・コンタクト ・アクティ)	16号	0.1	0.1
		20号		
		24号	0.09	0.09
		アクティ		
	TOTO ハイトリコン 制御方式	スーパーアクティ	0.09	0.08
		32号	0.08	
		21号	0.09	0.09
TOTO コマンド	TOTO ハイコマンド	16号	0.12	
		24号	0.08	
	21号	0.09	0.09	
	24号			

注) 表中のAは給湯機の最低作動水圧を示します。
(比例制御タイプにはこの数値が含まれています)
上記の最低必要水圧は、以下の条件を設定して算出しています。

- 止水栓は全開 ● 給湯配管長さ：5m
 - 吐水温度：42℃
- a) 能力手動切替タイプの場合
- 出湯温度は最高温度に設定

2. 給水・給湯配管

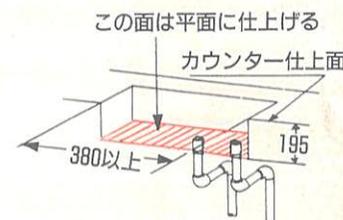
接続ソケット上端とカウンター仕上面までの寸法が175mmになるように施工してください。



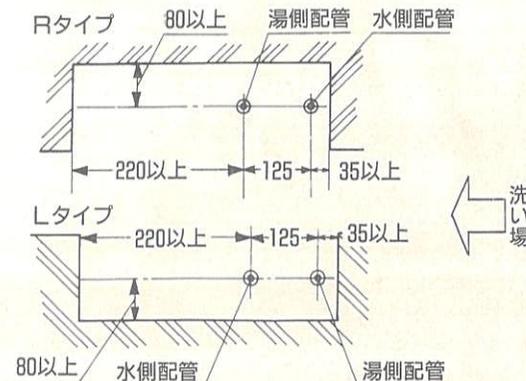
図はRタイプの
場合です。
Lタイプの場
合は給水給湯
配管が入替わ
ります。

カウンター仕上面

この面は平面に仕上げる
より195mmの位置
に器具据付用の平
面部を設けてくだ
さい。

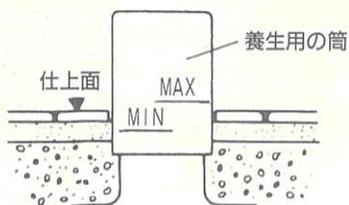


下図寸法は器具取付けのために必要な最小スペースです。



サーモスタット混合栓施工説明書

この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。



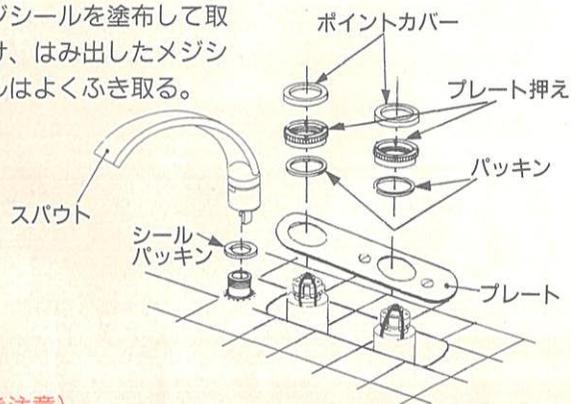
養生用の筒に記入してある仕上範囲内に納まるように、
タイル仕上げをしてください。
養生用の筒の内側に、モルタルなどが入り込まないように
注意してください。

5. スパウト・プレート・ポイントカバーの取付け

ハンドル取付用ブッシュに張付けているテープをはがして、
下記の手順で取付けてください。

※メジシール塗面

タイル目地のくぼみから
水が入り込まないように
メジシールを塗布して取
付け、はみ出したメジシ
ールはよくふき取る。

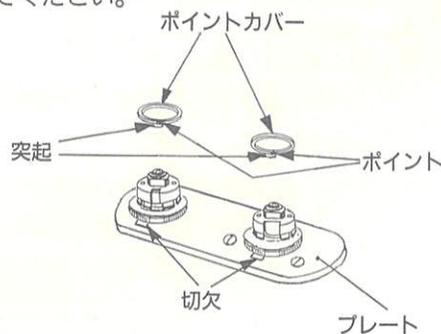


(ご注意)

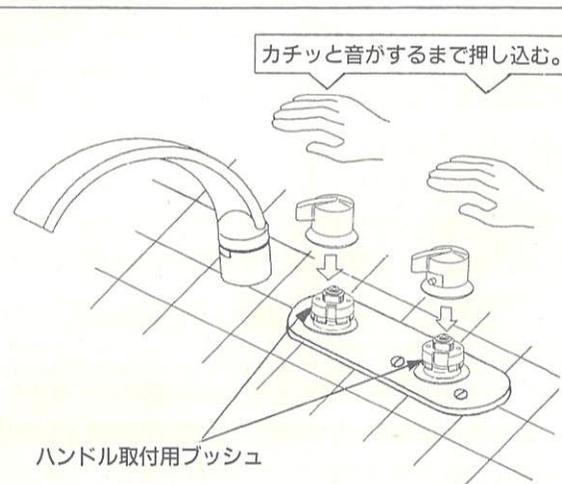
ブッシュの位置はあらかじめ調整されていますので、ハン
ドル取付け前に回さないで下さい。

※ポイントカバーの取付け

ポイント真下の突起を、プレートの切欠に合わせてはめ
込んでください。



6. ハンドル取付け



ハンドルははめ込み式になっていますので必ず“カチッ”
と音がするまで押し込んでください。

※ハンドルを取付ける前に、ハンドル取付用ブッシュが小
ねじでスピンドルに固定されていることを確認してくだ
さい。

温度調節

工場で温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況などによ
って、目盛どおりの吐水温度にならない場合があります。
その場合には、「取扱説明書」の温度調節の方法(11ページ)
をご参照になり、温度調節を行ってください。

最大設定量の調節

この器具は目盛300(約300L)まで設定できますが、浴槽の
適量目盛以上、設定ハンドルが回らないように最大設定量の
調節をすることができます。お客様のご希望で最大設定量の
調節をするときは、「取扱説明書」の最大設定量の調節方法
(8、9、10ページ)をご参照ください。尚、工場出荷時は
目盛を250に設定しています。

吐水口部網の掃除

スパウト先端の吐水口部の網にごみが詰ると、吐水状態が
乱れることがあります。

TBF41RX、LXの場合は、「取扱説明書」の15ページを
参照して掃除をしてください。またお客様にも網の掃除方
法についてご指導ください。

ストレーナの掃除お手入れ

ストレーナがつまると流量が少なくなったり、水又は熱湯し
か出なくなるなど十分な機能が発揮されなくなります。器具
取付後は、必ずストレーナを掃除してください。

「取扱説明書」の、13、14ページを参照してお客様にスト
レーナの掃除及びお手入れの方法、止水栓の位置と操作方
法をご指導ください。

分解と点検

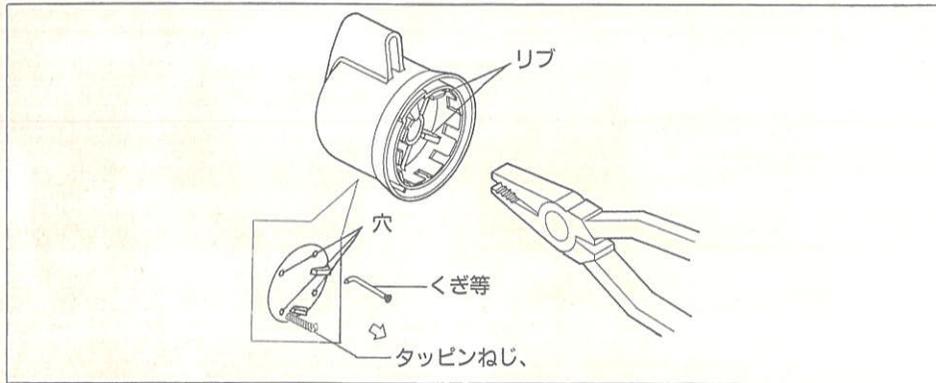
取付後万一故障などで分解するときは、次の要領で行ってください。

故障とその点検項目	
故障	点検項目
流量が少ない	1・2
高温しか出ない	1・2・6・7・8
低温しか出ない	1・2・6・7
目盛と湯の温度がちがう	1・2・6・7・8
水が止まらない	3・4・5

(ご注意)

ハンドル取付けの際は、必ずハンドル取付用ブッシュをスピンドルに小ねじで固定した後、取付けてください。ハンドル取付用ブッシュを先にハンドルに取付けると、ハンドルが確実に固定できなくなります。

誤って取付けた際には、ハンドル取付用ブッシュ内側のリブ(4ヶ所)をプライヤー等でひっぱるか、穴にタッピンねじ等をたて、ひっぱって外してください。



定量機能が故障し、湯水が止まらないなど、緊急を要するときは下図の要領で止水栓を閉めてください。

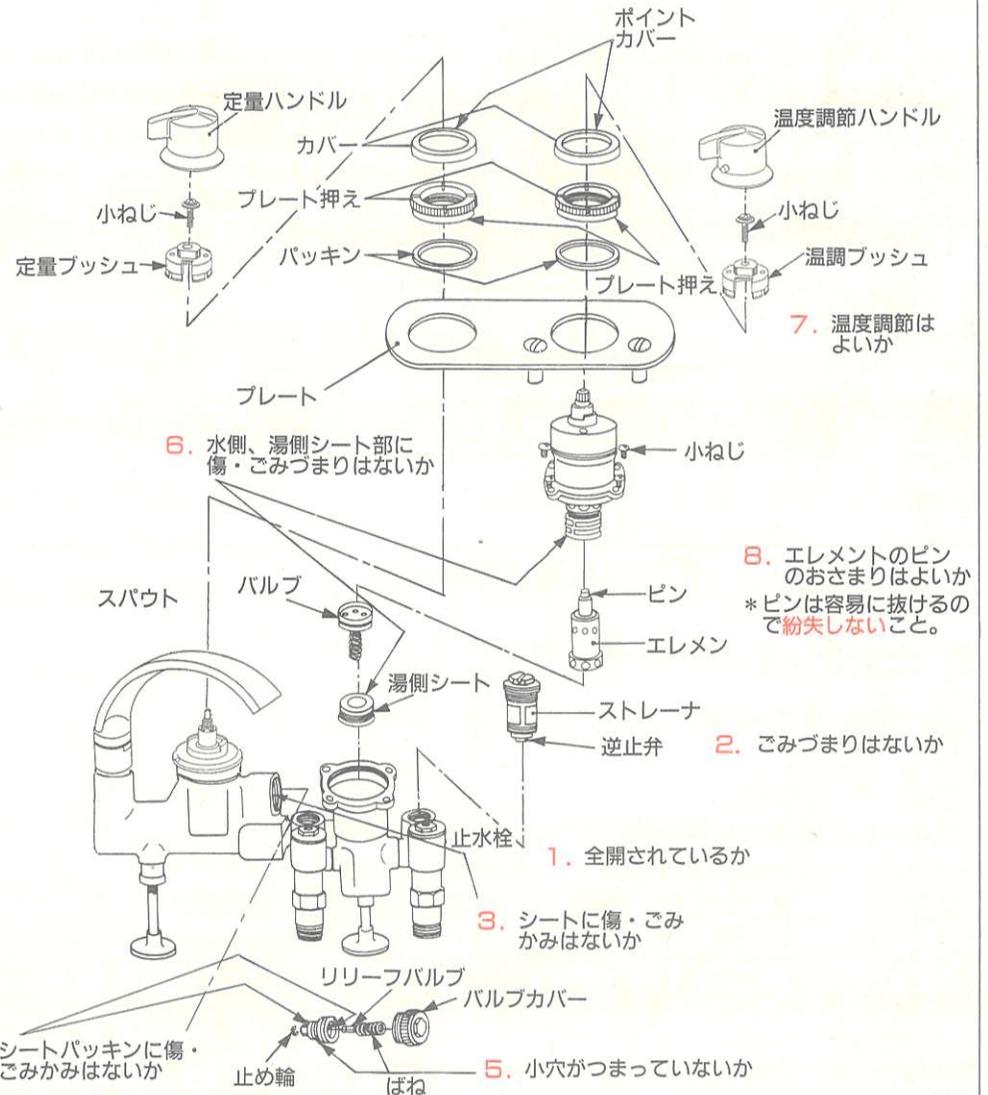
1. 付属の開閉工具で止水栓キャップを外す。



2. 奥までマイナスドライバーを差込んで止水栓を閉める。



※図はTBF41RXを分解した場合を示しています。



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。手渡しできない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。